

業界を挙げて 流通改善をさらに加速させる

一般社団法人 日本医薬品卸売業連合会 会長 宮田 浩美



本日は大変お忙しい中、通常総会にご臨席を賜り、誠にありがとうございます。また、日頃は卸連合会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、卸連合会ではこれまで、コンプライアンスを徹底しつつ、過去からの「古い商習慣」を一新しようと、「流通改善」を一丁目一番地として、取り組んでまいりました。この3年間の成果として、平均乖離率は約8%から4.8%へと改善し、過去最小値となりました。

これはひとえに、業界環境が大変厳しい中、会員企業それぞれが「自律」と「自立」の精神にもとづきご対応、ご尽力いただいた結果でございます。

また、「骨太の方針2025」には、持続可能な流通

の仕組みの検討といった医薬品流通に関する文言が盛り込まれました。さらに、令和7年度補正予算では、医薬品卸売業者に対する財政支援として、医薬品卸業者に対する継続的な安定供給支援事業に63億円が充てられました。これらは、いずれも医薬品卸の歴史上、初めてのことでございます。

これらが実現できましたのは、医薬品卸の皆様が、平時・有事を問わず、医薬品流通にご尽力いただいた賜物であり、医薬品卸の価値、医薬品の安定供給の重要性が、国政レベルで認知された画期的な一歩であると考えております。社会経済情勢が厳しさを増す中で、医薬品卸の存在意義と役割があらためてクローズアップされたものと受け止めております。

医薬品の供給不安が長期化しており、需給調整など、現場における負担は依然として高い水準にあります。現場の皆様方のご努力があったからこそ、これらが実現できたのだと、私は強く実感しております。会員企業の皆様方にあらためて感謝を申し上げたいと思います。誠にありがとうございます。

さて、ご承知のとおり、3月4日付で流通改善ガイドラインが改訂され、2026年度診療報酬・調剤報酬改定において新設された「地域支援・医薬品供給対応体制加算」では、「単品単価交渉」や「頻回配送・急配・在庫調整目的の返品 of 自粛」などが施設基準として盛り込まれました。

これにより、流通改善の実効性が一層高まる環境が整ったと、私は捉えており、そのようなことから、今年度は我々にとって、まさに正念場の年であり、業界を挙げて取り組みをさらに加速していく必要があります。引き続き、単品単価交渉により、しっかりと製品価値を守り、安定供給につなげてまいりたいと考えております。

一方で、2025年に続き、「骨太の方針」に、医薬品の安定供給に向けた支援が盛り込まれるよう、関係各所への働きかけを強化するとともに、2027年度の薬価制度改革に向けては、中間年改定の廃止や、流通当事者の行動変容を促すインセンティブの付与についても要望してまいりたいと考えております。

医薬品卸が医薬品の安定供給という使命を果たし続けるためには、薬価制度における流通構造そのものの見直しが不可欠であると考えております。物価や人件費が上昇する現在の環境においては、流通コストの増加分が十分に反映されにくい構造が続いており、このままでは、医薬品の安定供給を支える基盤が損なわれかねないと考えております。薬価制度のもとで流通しているという特性を踏まえつつ、流通の実態に即した議論を深めていくことが重要であると認識しており、引き続き、国や国会議員の皆様へ訴え続けてまいりたいと考えております。

私は、かねてから、卸連合会として成し遂げるべきは、「一企業では実現できないことを成し遂げ

ること」と「会員企業の共通課題を解決すること」であると申し上げてまいりました。具体的な施策については、「令和8年度事業計画」のとおりでございます。

今年度は、大規模災害時の流通体制の整備をはじめ、昨年度実施したフランスの薬価制度に関する調査について、厚生労働省や関係団体等へ共有するとともに、デジタルの活用による業務の効率化に向け、請求書の標準書式に加え、納品に関する帳票類の標準化の検討、加えて、中抜け返品事例データベースの本格運用を行ってまいります。また、継続して、医薬品卸の存在意義の広報を行うとともに、医薬品卸で働く皆様へ自信と誇りを持って働ける、魅力ある職場環境づくりにも力を尽くしてまいりたいと考えております。事業計画に掲げたそれぞれの施策については、結果にこだわりながら、推し進めてまいりたいと思います。

一方、国際情勢に目を向けますと、中東地域をはじめとする地政学的リスクの高まりが続いており、こうした情勢は、エネルギー価格や原材料価格の上昇を通じて、世界経済全体に影響を及ぼしております。医薬品流通の分野におきましても、物流費、燃料費、人件費など、あらゆるコストが上昇し、事業環境は大きく変化しており、対応に迫られていると認識しております。

事業計画を含めた、さまざまな課題への対応につきましても、本日お集まりの皆様方からのご支援なくしては、なしえることができないと思っております。

常々申し上げていることですが、「共感しないと行動に移せない」。この言葉を大切にしながら、引き続き、会員企業の皆様方と一丸となって、山積する課題の解決に取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりますが、日本医薬品卸売業連合会に関わるすべての皆様のお力添えをいただきますよう、心よりお願い申し上げまして、私からのご挨拶とさせていただきます。

*本稿は、令和8年5月28日に開催された当卸連合会の第14回通常総会における、宮田会長の挨拶に基づき作成したものです。